

認知症医療センターには、一般市民、専門職の方々へ認知症に関する情報を発信し、認知症の普及・啓発を促進するという重要な役割があります。センター便りとして定期的に情報を発信していきます

センターの活動報告

■ 専門医療相談などの統計(新規件数)

専門医療相談	8月	9月
外来受診相談	6件	4件
入院相談	5件	6件
その他	0件	0件
合計	11件	10件

鑑別診断	8月	9月
外来	1件	2件
入院	3件	5件
受診・入院予約	2件	0件
合計	6件	7件

専門医療相談以外	8月	9月
診断後支援等	1件	1件
自宅訪問	2件	0件
医療機関訪問	10件	2件
関係機関訪問	17件	3件
出前講座	0件	4件
合計	30件	10件

鑑別診断後分類	8月	9月
アルツハイマー型認知症	3件	5件
脳血管性認知症	0件	1件
レビー小体型認知症	1件	0件
前頭側頭型認知症	0件	0件
軽度認知障害	0件	1件
合計	4件	7件

■ 8月・9月のセンター活動の概要

今年の4月から準備に取り掛かり、7月末に指定通知が届き、8月1日から正式にスタートすることができました。

8月はセンターの開設の案内と運営に必須の「認知症地域医療連携協議会」の委員推薦の依頼目的で、医療機関や関係機関などを訪問しました。多くの関係機関の方から励ましのお言葉や認知症が疑われても受診しない人が多くセンターに積極的に動いて欲しいなどのご要望をいただきました。

8月下旬から急に入院相談が増え、2か月で8名の方が入院されました。

外来受診相談では、ご家族から「物忘れが進んでいるので受診を勧めているが本人が拒んでいる」という悩みが多く、そのうち1名の方のご自宅を2回訪問し、受診へと繋ぐことができました。今後、このような相談が確実に増えると思われます。本人に寄り添いながら適切に対応するには自身のスキルアップを図らなければと強く感じているところです。

9月には、直方市、宮若市の関係機関や住民の方などからのご依頼で出前講座を行いました(次頁参照)。住民の方とのネットワーク作りのためにも積極的にご依頼を受付、活動していきたいと考えています。



■ 「出前講座」の報告

● 第1回

(日時) 9月5日(火) 13:00～

(会場) 直方市中央公民館

(テーマ) 「福岡県認知症医療センターのご紹介」

(参加者) 市民53名、学生等16名 計69名

(概要)

直方市社会福祉協議会主催の「直方市認知症相談サポート講座」に出前講座の依頼があり、認知症医療センターの役割を認知症の基礎知識を織り交ぜながら30分ほどお話いたしました。

講座では、直方市役所健康長寿課高齢者支援係職員の方が「のおがた認知症お役立ちガイド」の紹介や「介護保険の申請について」の解説もありました。

参加者の方はとても熱心に聴講しておられ、質疑応答では、ご家族から「単に受診を勧めるのではなく、認知症の人の身になって関わって欲しい」というご意見や、地域のケアマネジャーの方から「本人が受診を拒む場合には医師が往診して受診への働きかけをして欲しい」などのご要望がありました。当日の様子は、その日のNHKニュースと直方市社会福祉協議会「社協だより」第199号で紹介されました。

<https://www3.nhk.or.jp/fukuoka-news/20230905/5010021792.html>



● 第2回

(日時) 9月7日(木) 13:30～

(会場) 若宮コミュニティセンター ハートフル

(テーマ) 「認知症の最新情報」

(参加者) 9名

(概要)

宮若市の在宅介護支援センターからのご紹介で「金丸若生会役員班長会議」でお話しました。

冒頭で直轄地区が県内でも3番目に65歳以上、75歳以上とも高齢化率が高く、認知症の危険因子が「加齢」であることから誰もがかかる可能性がある病気であり、地区住民が身近な問題であることを述べました。最近話題としてアルツハイマー型認知症の治療薬「レカネマブ」について各社の報道内容を説明し、将来、予防ワクチンの開発されるのを期待しながら、それまでは一人ひとりが予防に努めることが重要であるとお話ししました。

質疑応答では、「物忘れが気になっても精神科を受診するのは抵抗があるので、もし認知症かな？と不安になった時に何処に行けば良いのか教えて欲しい」など、今後の運営を考える上で貴重なご意見をいただきました。



● 第3回

(日時) 9月17日(日) 11:30～

(会場) 直方市感田 東和苑公民館

(テーマ) 「認知症の予防について」

(参加者) 34名

(概要)

直方市役所からのご紹介で「東和苑公民館」の敬老会で認知症予防についてお話しました。

第2回目と同様、直轄地区の高齢化率の現状やアルツハイマー型認知症の症状経過を説明した上で、認知症の第一次予防(認知症にならないこと)が重要であることをお話しました。

質疑応答では、「読書や日記を書くことは予防のために役立つのか」というご質問や、また、認知症の人を介護している家族のからは「進行予防のために薬を飲むのが良いと言われているが、飲んだとしても症状は確実に進行する。薬が本当に必要なのか疑問がある」とのご意見がありました。治療の必要性を家族の方とどのように考えていけば良いのかなど考えさせられました。



●第4回

(日時) 9月26日(火) 14:30～
(会場) 宮若市稲光「覚円寺」
(テーマ) 「認知症の予防について」
(参加者) 13名
(概要)



宮若市の在宅介護支援センターからのご紹介で、覚円寺の講和会で認知症予防についてお話ししました。

まず冒頭、2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると予測されており、直鞍地区は県内でも3番目に高齢化率が高く、認知症の危険因子が加齢であることを併せて考えると、他人事ではなく、我が事、街ごとであることを説明。認知症の危険因子について解説し、予防のために生活習慣の改善や孤立化を防ぐことが重要であることを説明しました。

質疑応答では、予防のための食事に関して、青魚や野菜をどの程度摂取することが効果的なのかという質問がありました。いずれもバランス良く食べることが大切で、野菜(緑黄色野菜)は1日350g程度、鯖、鰯、鰯などの青魚を週に3回程度摂るのが良いと言われていることを説明しました。食事については皆さん関心が高いようで熱心に聞いておられました。

お知らせ

【第1回高山病院認知症地域医療連携協議会開催のお知らせ】

(開催日時) 令和5年11月16日(木) 18:00～

(会場) ユメニティのおがた 会議室

(議題)

1. 委員のご紹介
 2. 高山病院認知症地域医療連携協議会規則(案)について
 3. 当院福岡県認知症医療センターの今後の運営について など
- 当日の様子は、12月発行予定のNo6「活動報告」の際に掲載いたします

【次号の予告】

11月に

- No4 『特集3 「レビー小体型認知症について」』
- No5 『特集4 「前頭側頭型認知症について」』を掲載いたします

【ご意見・ご要望を募集しています】

「センター便り」に関するご感想やご意見・ご要望は、認知症医療センター事務局までお気軽に下記までご連絡ください

【編集・発行】

医療法人 福翠会 高山病院 福岡県認知症医療センター

〒822-0007

福岡県直方市下境 3910-50 TEL 0949-23-0520 FAX 0949-24-0838

E-Mail takayamaninchis@gmail.com URL <https://nogata-fukusuikai.jp/>